

希望者全員の65歳までの 継続雇用を勝ち取ろう！ 継続雇用基準のリセットを求め議員要請！

3月19日、JR総連萩原副委員長と淵上本部委員長、小林新幹線関西地本委員長は、希望する全社員が65歳まで雇用が実現されるように、民主党の初鹿明博衆議院議員に要請を行いました。これは2月15日に、組織内議員の田城郁参議院議員の力添えと、JR総連の協力のもとで、民主党など160名を超える国会議員への要請行動の結果において実現しました。

今回の初鹿議員への要請では、今国会で審議されている高齢者雇用安定法改正法案において、60歳定年後の再雇用対象者基準が、経過措置として盛り込まれていることに対し「法改正の趣旨に反する内容である」「再雇用基準は法改正に合わせてリセットすべきである」ということなどを強く訴えてきました。初鹿議員は「経過措置は趣旨に反し、おかしいと思う」「JR東海の再雇用基準はあまりにも厳しすぎる」などと述べられ、「希望者全員が継続雇用されるよう努力していきたい」と私たちの要請に応じていただきました。

また、新党きずな的小林正枝衆議院議員は3月7日、私たちの要請を受けて、衆議院厚生労働委員会の場で、「平等に継続雇用の機会が与えられるよう、企業に義務付けを課すべき」「企業の恣意的な選択で継続雇用が妨げられることがないよう」との発言をしていただきました。

私たちは、不当なボーナスカットを繰り返し、JR東海労組合員を専任社員として採用しない組織破壊攻撃を許さず、65歳までの完全雇用の実現と、不当なボーナスカットを跳ね返す闘いとして、2012JR春闘を闘い抜きましょう！

「JR東海の再雇用基準はあまりにも厳しすぎる」
企業の恣意的な選択で継続雇用
が妨げられてはならない！